

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR227B	TCR_English Communication Strategies IV_B		
科目名（コード）	TCR227	TCR_English Communication Strategies IV_B		
対象学科	グローバルビジネス学科		配当学年	2年生
対象コース	CH2		単位数	2単位30
授業担当者	佐々木敬太		時間数	
成績評価教員	長島洋介		講義期間	秋期
実務者教員			履修区分	
実務者教員特記欄				

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	基礎英語コミュニケーション力をケーススタディやディスカッションなどでビジネス戦略力を養う
全体の内容と概要	基礎的かつ必要不可欠な英文法のルールを理解し、それらを用いた英文を理解することができる、また、それら文法構造を用いて発話するスキルを身につける。
授業時間外の学修	偶数回の授業において、各UnitのReading Sectionの語彙と内容を予習の範囲として事前把握に努める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	前期の復習	前期の復習
2	可算名詞・不可算名詞 の違い、 不定代名詞 の理解を深める	Unit 4 (p.41-47) 可算名詞と不可算名詞の違いにより使用可能な形容詞 (much vs. many) の認識、両方に使用可能な不定代名詞を理解しそれらを用いたoutputを
3	可算名詞・不可算名詞 の違い、 不定代名詞 の理解を深める	Unit 4 (p.41-47) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
4	長文読解の中で 可算名詞／不可算名詞 の違い、 不定代名詞 の理解を深め	Unit 4 (p.48-52) 可算名詞と不可算名詞の違いにより使用可能な形容詞 (much vs. many) の認識、両方に使用可能な不定代名詞を理解しそれらを用いたoutputを
5	長文読解の中で 可算名詞／不可算名詞 の違い、 不定代名詞 の理解を深め	Unit 4 (p.48-52) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
6	助動詞 (should, could) の理解を深めそれらを用いた発話表現を身に	Unit 5 (p.53-59) 左記の助動詞や同様の表現 (have to etc.) の用法を理解し、receptive skills並びにproductive skillsの両方でそれら表現を身につける。
7	助動詞 (should, could) の理解を深めそれらを用いた発話表現を身に	Unit 5 (p.53-59) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
8	長文読解の中で これまで学習した文法項目 を探究し、それらの理解を更	Unit 5 (p.60-64) 前回までに学習した文法項目が含まれた長文読解を通じて、それら文法項目を自身の実力で探究かつ理解できるかどうかを確認する。
9	長文読解の中で これまで学習した文法項目 を探究し、それらの理解を更	Unit 5 (p.60-64) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
10	"enough to do"と"too... to"構文 と違いを理解しoutputできるように	Unit 6 (p.65-71) 左記の構文並びに第4文型 (SVOO) と第4文型を第3文型 (SVO) に書き換える際の留意点を理解する。また、それらを用いた発話練習を実施
11	"enough to do"と"too... to"構文 と違いを理解しoutputできるように	Unit 6 (p.65-71) 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
12	第4文型 の復習と過去に学習した文法項目を実力で探究できるようにする	Unit 6 (p.72-76) 第1回から第11回までに学習した文法項目が含まれた長文読解を通じて、それら文法項目を自身の実力で探究かつ理解できるかどうかを確認する。
13	期末試験対策	期末試験に向けてのレビュー
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	StartUp Student's book 3
参考文献・資料等	
備考	※授業の進捗状況を鑑み、各回のトピックに合った記事等を追加資料として配布する可能性があります。